

# ガイドライン内 事前協議チェックリスト (辰沼一丁目地区)

20220304

Ver.B.1

【様式B】

記入日	
計画名	

項目		配慮した内容	図面番号	照 合
豊かな緑潤いのある景観	緑のネットワーク	既存の並木等を継承し、周辺の公共施設とつながる、緑豊かな自然環境を拡充・整備		<input type="checkbox"/>
		主要生活道路沿いの地区外周部や団地内広場を、緑豊かな空間やシンボルとなる並木として整備		<input type="checkbox"/>
	緑の継承と拡充	区道大谷田301号・310号線沿いは、特に既存樹木を保存・活用し、シンボルとなる並木とする		<input type="checkbox"/>
		地区内の既存樹木のうち、健康な樹木等について保存・活用		<input type="checkbox"/>
		新植樹木は、路線やエリアごとに主要な樹種を位置付け、本地区を特徴づける緑豊かな自然環境を整備		<input type="checkbox"/>
		新植樹木は、季節の変化を感じられる花木を取り入れ、四季を楽しめる魅力的な景観を形成		<input type="checkbox"/>
		管理面・防犯面に配慮しながら、高木を中心として、高木、中木、低木等をバランスよく配置		<input type="checkbox"/>
		緑化基準を遵守するとともに、地区内が緑豊かな空間となるよう積極的な緑化に努める		<input type="checkbox"/>
	防火性の高い樹種の選定など、樹木による地区の安全性向上を図る		<input type="checkbox"/>	
オープンスペースでつくる安全で快適な景観	広場空間	周辺からアクセスしやすい歩行者ネットワーク沿いに、安全で賑いのある広場空間を整備		<input type="checkbox"/>
		広場空間は、災害時に有効なオープンスペースとなるとともに、日常的に地域の活動や交流の場としても活用できる、地域に開かれた居場所となるよう整備		<input type="checkbox"/>
		西側広場は、子どもを中心とした遊び場空間を確保しつつ、高齢者も楽しめる多世代が行き交う場とする		<input type="checkbox"/>
		東側広場は、特徴的な樹木を配置しながら、散策や交流の場となるよう整備		<input type="checkbox"/>

		各広場空間はゆるやかにつながるよう、地区内外の歩行者動線を確保			<input type="checkbox"/>
	歩行者空間	周辺とつながる安全な歩行者ネットワークを形成し、災害時にも円滑に機能する歩行者空間を整備			<input type="checkbox"/>
		歩道状空地等の整備により、安全で快適な歩行者空間を形成			<input type="checkbox"/>
		歩行者空間や広場には腰掛けられる休憩スペースを設ける			<input type="checkbox"/>
		地区外周部を中心に緑化を行い、緑を感じながら歩ける魅力ある歩行者空間を整備			<input type="checkbox"/>
		地区内の通路沿いは、視認性が確保できる樹種を選定するなど、防犯性に配慮			<input type="checkbox"/>
		コーナー部分は、歩行者の安全性、車両交通の円滑性に配慮し、見通し空間として位置づける			<input type="checkbox"/>
		見通し空間は、特徴的な樹木を配置し、見通しを確保しつつ、地区の景観のアクセントとなる空間とする			<input type="checkbox"/>
周辺地域と調和した景観		建物配置・高さ	隣接する周辺市街地との調和を意識した計画とする		
	建物配置に適度な変化を与え、周辺から変化を感じられるような景観を形成				<input type="checkbox"/>
	南側から北側に向けて建物高さを低くすることで、圧迫感を軽減				<input type="checkbox"/>
	計画地際の処理	地区外周部は、緑化や建物の壁面後退等により、周辺地域と調和する緩やかな際の処理による景観形成			<input type="checkbox"/>
		特に主要生活道路に面して沿道緑化を行い、圧迫感を軽減			<input type="checkbox"/>
		住棟は道路境界からの壁面後退距離を十分に確保			<input type="checkbox"/>
ユニバーサルデザインの導入		団地住棟や施設は、障がい者、高齢者等に配慮した、誰もが使いやすいデザインと設えとする			<input type="checkbox"/>
屋外施設 (駐車場・駐輪場・ごみ置き場等)		駐車場等の屋外施設は、道路や広場からの見え方や防犯に配慮			<input type="checkbox"/>

		駐車場は、生垣、植栽柵で死角をつくらず、見え方に配慮			<input type="checkbox"/>
		駐輪場は、足元に低木を設けて緑化する等、景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		ごみ置き場は、緑化による目隠しや建物と一体感のあるデザインとし、景観に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋外灯は、必要な照度が確保できるよう、バランス良く配置			<input type="checkbox"/>
		案内板等は、景観に変化を与えるデザインとするとともに、周囲の建物との調和に配慮			<input type="checkbox"/>
		緑のネットワーク沿いは、ベンチ等を配置し休憩空間の形成に配慮するとともに、特徴的な樹木に樹名板を設置し、親しまれる空間づくりを行う			<input type="checkbox"/>
舗装		通路や歩道状空地の舗装は透水性素材を採用するなど環境に配慮			<input type="checkbox"/>
		街角や車の導入口は視認性を高める工夫			<input type="checkbox"/>
		ユニバーサルデザインに配慮した舗装材料			<input type="checkbox"/>
屋外広告物	都営住宅	原則、屋外広告物を設置せず、案内板等は景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
	公共公益施設	広場や住宅に面し屋外広告物を設置する際は、景観を阻害しないよう形態、規模、色彩、光源等に配慮			<input type="checkbox"/>
		屋外広告物は、著しく圧迫感を与える大きさを避け、周辺とのスカイラインの調和に配慮した高さとする			<input type="checkbox"/>
		壁面広告は、建物壁面とのバランスを考慮した大きさとし、正面デザインを乱さないよう配置形状に配慮			<input type="checkbox"/>
		突出広告は、沿道景観を乱さないよう形状を揃え、壁面線に沿って規則正しい配列となるよう配慮			<input type="checkbox"/>
環境や災害対策に配慮した取組み		住棟には、防災備蓄倉庫を1階だけでなく上階にも設置し、地震・水害時に備える			<input type="checkbox"/>

		雨水浸透施設や雨水貯留施設の設置、透水性舗装の採用、敷地内の緑化等、自然環境を保全、再生する取組みに努める			<input type="checkbox"/>
		省エネルギー化の推進や自然エネルギーの活用等に配慮			<input type="checkbox"/>
		コンクリートの再生砕石の利用等、リサイクル材の活用や廃棄物の削減等に配慮			<input type="checkbox"/>
照明計画	団地内屋外灯	夜間の安全性・安心感を確保するとともに、色温度の低い照明を使用し、暖かみがある住環境を形成			<input type="checkbox"/>
		主要生活道路沿いや住棟への分岐点、団地内通路沿いは明るく照らし、沿道側・住棟前は近隣への光害に配慮			<input type="checkbox"/>
色彩	都営住宅	ベースカラーは、YR系の高明度・低彩度のベージュ色を使用			<input type="checkbox"/>
		サブベースカラーは、YR系の中明度・中彩度色を使用			<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、サブベースカラーより高明度、高彩度の色相			<input type="checkbox"/>
		アクセントカラーは、建物エントランスや低層部、街角等のアイストップ、工作物のサインに効果的に使用			<input type="checkbox"/>
	公共公益施設	建物規模に応じ足立区景観計画における「色彩基準Ⅰ～Ⅱ」を遵守			<input type="checkbox"/>
		強調色として原色に近い高明度、高彩度の色を用いる場合は、区道に面する箇所以外には使用しない			<input type="checkbox"/>

(注) 太枠内のみ記入すること。

なお、ここに記載がない事項についてはガイドラインに沿って十分配慮すること。